令和8年度「広葉樹資源把握及びナラ枯れ被害検出AIモデル構築実証」委託業務

項番	日付	質問内容	回答
1	4月16日	コンソーシアム協定書の構成員が分担する受託額に係る協定書について、参加表明書提出の際には空欄とし、後日提出することは可能か。	参加表明書提出時に協定書に構成員が分担する受託額を記載し、提出してください。なお、参加表明書提出後にコンソーシアム構成員の合意の下で分担受託額を変更することは差し支えありません。
2	5月7日	本システムの主な利用者は、どのような立場の方（行政職員、現場作業員、委託先のエンジニアなど）を想定されているか。	現時点では、主な利用者として北海道庁の行政職員を想定しています。
3	5月7日	データの判別や活用は、どの程度の頻度（例：1年ごと、半年ごと等）で行う計画か。	現時点では、年に1回行う衛星画像の入手に合わせて、AIモデルによる画像解析を実施していくことを想定しています。 なお、ナラ枯れ被害検出については、9月中に画像を調達し、1ヶ月程度で解析を終えることを想定しています。
4	5月7日	納品後の最新データの読み込みや、それに伴う運用コスト、保守メンテナンスについては、どのように設計・計画されているか。 上記項目について、提案側に委ねられている場合は、その旨と、貴所が重視されている狙いは。	現時点では発注者としては運用コスト等について設計・計画しておりません。 企画提案書の中で、本業務で開発するAIモデルの詳細や必要な機器などの動作環境と併せて、将来的に運用する際に必要となる経費等（項目、想定金額）を提案してください。その前提となる運用・保守メンテナンスのあり方についても、提案者において適宜設定してください。 なお、過度に高度な機器に依存せず、道の利用環境を踏まえた現実的な運用となっているかなどを審査項目としていますので、それを踏まえて提案してください。その他詳細な項目については、「審査調書」をご覧ください。
5	5月11日	業務遂行体制について、「関係機関・団体等と連携する場合は、企画提案書にその部分についても記載すること」となっているが、記載することによって企画提案者が特定できる場合はどのように記載すればよいか。	企画提案者名を記入する1部については、連携する関係機関・団体等を記載してください。 それ以外の9部については、連携する関係機関等の名称は、（企画提案者を特定できるかどうかに関わらず）「A社」、「B社」、「研究機関」のように記載してください。